



32. コマイ *Eleginus gracilis* (Tilesius)

図版13

英名 saffron cod

露名 ワフニヤ グリニフストーチナヤ ナワーガ
вахня, дальневосточная навага

地方名(北海道) カンカイ、オオマイ (大型魚)、ゴタツペ (小型魚)

漢字 氷魚、氷下魚

アイヌ語名 カンカイ、コマイ、ポンエレクシ

【形態】 上あごは下あごより突き出る。下あご先端のひげは短く、眼径*の半分以下の長さ。吻*端はマダラよりとがる。スケトウダラやマダラと比べ、色紋ははっきりしない。体の背側*は黒褐色または黄褐色、腹側*が銀白色で黄色みを帯びる。全長*40cmで、北海道で漁獲されるタラ科3種*で最も小型。

【生態】 分布域は日本海からオホーツク海、千島列島を経てベーリング海峡に至る北太平洋沿岸。血液中に凍結を防ぐ物質を持ち、水温0℃以下でも生きられる。北海道は分布域の南限近くに当たり、東部の特に根室海峡に多い。沿岸性で水深150mより浅い所の底層に生息し、周年大きな回遊*はしないとされるが、水深5mくらいのごく浅い所と深みの間を季節によって移動しているようである。

産卵期は1～3月、盛期は1月中旬～下旬の厳冬期。岸近くの氷点下かそれに近い低い水温の所で卵を産む。北海道では根室海峡の野付半島周辺が最も大きな産卵場として知られる。雌はマダラと同様に1回の産卵ですべての卵を放出し、群れとしての産卵期間は2～3週間と短い。

産卵数*は体長*28～33cmで10万～20万粒。付着沈性卵*で弱い粘着性を持

つ。卵の直径は約1 mm。卵発生に適した水温は2°C以下で、4°C以上ではふ化率がかかなり下がる。実験では受精からふ化までに1.1°Cで56日かかるので、天然では2カ月以上と思われる。水温の上昇がふ化の刺激となっていて、春先の水温上昇期に集中してふ化するようなくみが備わっていると考えられる。

ふ化仔魚^{しぎよ}*は体長約5 mm。北海道東部の太平洋や根室海峡では、7月に体長5～6 cm、満1歳となる1月までに体長18cmに達し、2歳で約28cm、3歳で約33cmになる。成長は2歳まで速く、その後遅くなる。北海道より北では、これより成長が遅く寿命が長い。

餌はカイアシ類*やオキアミ類*などの浮遊性甲殻類とゴカイ類*、ワラジムシ類*、エビ類などの小型底生動物や魚類。